

株式会社豊島製作所

埼玉県東松山市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

高い技術力を活かした総合プレス加工の トップメーカー — 複雑で高精度な自動車 部品や最先端の電池材料を製造 —

- 産業用ロボットの活用により生産ラインを自動化し、自動車部品の品質向上、製造原価の低減を達成した
- タイに新工場を立ち上げ、日系自動車メーカーや自動車部品メーカーから新たな需要を取り込んだ
- 板鍛造を駆使した高精度な自動車部品の製造や、リチウムイオン電池材料などの開発販売を行っている

企業基本情報

所在地	埼玉県東松山市下野本 1414
電話/FAX	0493-23-1213/0493-23-1216
URL	http://www.material-sys.com/ http://www.toshima-mfg.jp/
代表者	代表取締役社長 木本 健太郎
設立	1945年
資本金	9,900万円
従業員数	179人



会社概要

埼玉県東松山市に本社を置く同社は、トランスミッション系の自動車部品を製造する部品事業部、先端材料を製造するマテリアルズシステム事業部からなる。部品事業部では、肉厚を自在に変化できる独自の「板鍛造」により、複雑で高精度な自動車部品を製造する。マテリアルズシステム事業部では、ホットプレス技術により、リチウムイオン電池、太陽電池、熱電変換電池など先端電池材料の開発販売を手がける。いずれも、独自のプレス加工技術力を高めることにより大きな成長を遂げてきた。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

産業用ロボットの活用による生産ラインの自動化と品質向上

自動車部品の量産開始当初、生産ラインが多岐にわたり手作業も多かったことから、生産性が低かった。また、生産年齢人口減少に伴う労働力確保も課題となっていた。そこで、1カ所に生産ラインを集約し、さらに、産業用ロボットなどの活用による自動化を推進した。これにより、部品の生産性が向上し、作業員数を8名から2名へ減らすことができた。また、自動化により安定な製造が可能になったので、自動車部品の品質も向上した。



ロボットライン
単工程板金プレスと
鍛造プレスを送り出す
ロボットでつなぐ
タンデムライン

ロボットライン

部品事業部のタイ工場を新設、さらなる事業拡大を目指す

日系の自動車メーカー、自動車部品メーカーが東南アジアでの生産拡大を進める中、2012年に佐久間特殊鋼(株)と合併で、2億8000万円を投じてタイに工場を新設した。ステアリング、シートベルト等、高精度自動車機能部品の現地生産を開始したことで、日系自動車メーカーから、新たな需要を取り込むことができた。今後も自動車部品の製造・販売を拡大することで、タイのみならず、タイを軸としたASEAN、中国等アジア市場におけるさらなる事業拡大を目指す。



タイ工場の新設

複雑で高精度な自動車部品の製造や最先端の電池材料の開発

板金と冷間鍛造を組み合わせた新たな金属加工技術「板鍛造」の量産製造技術を早期に生産ラインに組み込んだ。この技術を活用し、従来のプレスでは成形が困難な複雑で高精度な自動車用のトランスミッション部品を製造している。さらに、ホットプレス技術により、EV(電気自動車)で大容量化が進んでいるリチウムイオン電池、太陽電池などの最先端の電池材料を開発販売している。大手企業の研究開発部門、大学、国立研究機関と共同研究による新商品の開発も行っている。



主力製品